

第 183 号 内容紹介

1 , J・サックス「アメリカー極支配と単独行動の破たん」

著名な米経済学者の欧州議会での講演録。ソ連崩壊後、東欧諸国やソ連、ロシアの経済顧問を務めた経験から、アメリカー極主義外交を総括し、ロシア、プーチン悪魔論に捕われた国際世論に覚醒を促す。

2 , G/E「米イスラエルによる世界聖戦を唱える米国防長官」

トランプ政権の国防長官に就任したヘグセス氏。2020 年に出版した著書で、みずからを（11 世紀にイスラの撲滅を目指した）「十字軍」の一員と呼び、中国と国際的左翼、イスラムへの「聖戦」を呼びかけている。

3 , 鈴木頌「ウクライナ戦争；基準は正義でなく人の命だ」

トランプによる停戦交渉は、開戦以来初めての本格的な和平チャンスだ。これを逃すことで、歴史的な負い目を背負うことだけは避けたい。

4 , Y・バルファキス「さようならドイツ左翼党」

政府債務の上限を取り払い、再軍拡への道を開いたドイツ議会の憲法（基本法）改正。左翼党は反対したが、州政権の代表が参加する参議院でがんばれば 3 分の 2 を阻止できたはずだと、批判がおきている。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala_news の編集日記](http://aala_newsの編集日記) ([livedoona 愛用紹介 r.jp](http://livedoona愛用紹介r.jp))）